

年

組

番

名前

教師用

1. 私たちの体は、どのようにして大きくなっていくのだろうか。そこにどのような特徴があるのだろう。（ ）にあてはまることばや数値をいれて要点をまとめよう。

- ①私たちの体は、生まれてから（ 20 ）歳ごろまで発育を続ける。
- ②一生のうちに、身長や体重などが急に発育する時期（発育急進期）が（ 2 ）度ある。
- ③2度目の発育急進期（第2発育急進期）は（ 思春期 ）にあたる。
- ④第2発育急進期は、多くの場合（ 女 ）子が（ 男 ）子より早く始まる。

2. 1度目の発育急進期はいつあったのだろうか。2度目の発育急進期とくらべて、どのような特徴があるのだろう。教科書の図1を見て（ ）にあてはまることばをいれよう。

【1度目の発育急進期】

- ・生まれる前、お母さんの（ おなか ）の中にいたときから2歳くらいまで。

【特徴】

- ・2度目の発育急進期にくらべて、発育の度合いが（ 大きい ）。
- ・男女で（ 差 ）がない。

3. 体にはさまざまな器官がありますが、すべて同じ時期に同じように発育・発達するわけではありません。下のグラフは、こうした発育のしかたを器官別に表したものです。どの線がどの器官の発育を表しているのだろうか。A～Dにあてはまる器官を線で結び、思春期に発育が急速に進むものに○をつけよう。

